

# 古着の価値は誰が決める？買取価格が上がる「ヴィンテージ」の世界へようこそ

「古着は安くて、手軽でおしゃれ」

多くの人がそうイメージするかもしれませんが。

しかし、古着の世界には、新品の服をはるかに凌ぐ価格で取引される「お宝」が数多く眠っています。

特に「ヴィンテージ」と呼ばれる希少なコレクターズアイテムは、時に数十万円、場合によっては数百万円の値がつくことも。

その価値は、単なる中古品としてではなく、歴史的・文化的な価値を持つ「資産」として評価されているからです。

では、一体どのような古着に高値がつくのでしょうか？その価値は何を基準に決まるのでしょうか？

この記事では、古着の買取が初めての方でも安心して知識を深められるよう、「価値が決まる6つの基準」から「高額買取されるアイテムの具体例」、さらには「大切な一着を長持ちさせるお手入れ方法」や「査定額をアップさせる実践テクニック」まで、丁寧に解説していきます。

あなたのクローゼットに眠る一着が、実は驚きの価値を持つ逸品かもしれません。

---

## 1. 古着査定で使われる6つの基準

### 1-1 ブランド・デザイナー

### 1-2 年代

### 1-3 希少性

### 1-4 状態(コンディション)

### 1-5 トレンド

### 1-6 ストーリー・背景

## 2. 新しい古着と古いヴィンテージ、どちらが高く売れる？

## 3. ダメージがあっても売れる古着の条件

## 4. 古着マニアが知っている豆知識

### 4-1 「ヴィンテージ」と「アンティーク」の違い

### 4-2 タグは年代特定のタイムカプセル

### 4-3 軍物(ミリタリー)古着はなぜ今も人気なのか？

### 4-5 カルチャーが交差して生まれる価値

## 5. 買取市場で人気のコレクターアイテム

### 5-1. ジーンズ(リーバイス 501)

[5-2. トレンチコート\(バーバリー\)](#)

[5-3. スウェット・パーカー\(チャンピオン リバースウィーブ\)](#)

[5-4. スニーカー\(コンバース オールスター/チャックテイラー\)](#)

[6. 古着を長持ちさせるお手入れ方法](#)

[7. 【実践編】高く売するためのテクニック](#)

[8. まとめ | 古着は「中古服」ではなく価値ある「資産」](#)

---

## 1. 古着査定で使われる6つの基準

地域や鑑定士によって多少の差はありますが、古着の価値は主に以下の6つの基準を組み合わせることで判断されます。

### 1-1 古着のブランド・デザイナー

ルイ・ヴィトンやシャネルのようなハイブランド、あるいはコム デ ギャルソン、ヨウジヤマモト、マルタン・マルジェラ(初期)といったデザイナーズブランドは、そのブランド自体に強力な評価基盤があるため、価値が安定しています。

ポイント: タグのデザイン(旧ロゴ・旧表記)、限定コラボレーションの有無、ショーで使われたコレクションピースか量産ラインかによって、同じブランドでも価値は大きく変動します。

### 1-2 古着の年代

一般的に製造から30年以上経過するとヴィンテージ扱いされます。時代ごとの素材や縫製が現代と異なり、同等品が再生産できないことが価値に直結します。

ポイント: 縫製仕様(チェンステッチ、シングル/ダブル)、ジッパー刻印(TALON/YKK/SCOVILLなど)、国別製造表記(USA/France/Japanほか)を確認。

### 1-3 古着の希少性

限定生産モデル、ごく短期間しか展開されなかった短命ライン、イベントでのみ配布された非売品、すでに廃盤となったモデルなどは、需要に対して供給が極端に少ないため、価格が高騰しやすくなります。

ポイント: シリアルナンバーの有無や、箱、保証書、下げ札といった付属品が揃っていると、そのアイテムが「本物」である証明となり、評価はさらに高まります。

### 1-4 古着の状態(コンディション)

基本的には新品に近い、状態が良いものほど高額になります。しかし、デニムの色落ち(ヒゲ、ハチノス)やミリタリーウェアの生地(パッカリング)のように、経年変化が「味」としてプラス評価されるジャンルも存在します。

ポイント：擦れ、ピンホール、ほつれ、縮み、日焼け、臭い、リペア跡などを正確に把握しましょう。特に、オリジナルの着丈が保たれ、ボタンやリブがオリジナルのままであることは非常に重要です。

## 1-5 トレンド

Y2K(2000年代リバイバル)、ゴープコア(アウトドア系)、テック(機能素材系)など、現在のファッショントレンドと合致するジャンルは、需要が高まり相場が変動しやすくなります。

ポイント：サイズ感(オーバーサイズか、タイトか)、シルエット(フレア、テーパード)、定番色(黒、オリーブ、ネイビー)などを意識することが重要です。

## 1-6 古着のストーリー・背景

カート・コバーンが着用したカーディガン、のように特定の著名人が愛用したモデル、映画やドラマで象徴的に使われた衣装、スポーツ選手が実際に使用したユニフォームなど、語られる背景を持つ服は、コレクターの所有欲を強く刺激し、価値を飛躍的に高めます。

---

## 2. 新しい古着とヴィンテージの古着、どちらが高く売れる？

古着の価値は「新しい＝高い」という単純なものではありません。

ジャンルごとに価値の尺度が異なります。

- ブランド古着：デザイナーズブランドやセレクトショップのオリジナルなどは、発売から時間が経っておらず、現在のトレンドに合ったモデルの方が高値で取引されやすい傾向があります。
- ヴィンテージ古着：古ければ古いほど希少性が増し、一点物としての価値が高まります。リーバイスの501のように、特定の年代のディテールを持つものは、現行品とは比較にならない価格で取引されます。

---

## 3. ダメージがあっても売れる古着の条件

「破れやシミがあるから価値がない」と諦めるのは早計です。

ダメージが欠点となる場合だけでなく、むしろ価値になる場合がございます。

- プラス評価になる例：
  - デニムに自然に生まれた色落ちやアタリ
  - ミリタリーウェアが使い込まれて柔らかくなった風合い
  - 当時施された丁寧なリペア跡(タタキなど)

- マイナス評価になる例：
  - タバコや香水などの強い臭い
  - 生地が硬化したり、裂けやすくなったりしている致命的な劣化
  - デザイン性を損なうような雑な補修跡

高額査定を狙うなら、査定前に専門店でクリーニングに出したり、簡単な補修を施したりすることをおすすめします。

---

## 4. 古着マニアが知っている豆知識

古着の世界は知れば知るほど面白くなる奥深い沼。

古着選びがもっと楽しくなる、覚えておいて損はない豆知識をご紹介します。

### 4-1「ヴィンテージ」と「アンティーク」の違い

- **ヴィンテージ (Vintage)**: 製造からおおよそ**30年～100年**が経過したもの。
- **アンティーク (Antique)**: 製造から**100年以上**が経過したもの。

※ 国やアイテムの分野によって定義は少しずつ異なりますが、この基準を覚えておけば大丈夫です。

### 4-2 古着のタグは年代特定のタイムカプセル

ロゴの書体、®(Rマーク)や™(TMマーク)の有無、素材の表記、生産国などは、その服が作られた時代を教えてくれるヒントの宝庫です。

- **例1)リーバイス (Levi's)**: ジーンズのヒップポケットに付く「赤タブ」の文字が「LEVI'S®」(ビッグE)か「Levi's®」(スモールE)か、脇の縫い目の裏に「赤耳(セルビッジ)」があるかないかは、ヴィンテージを見分ける上で非常に重要なポイントです。
- **例2)チャンピオン (Champion)**: リバースウィーブのスウェットはタグの色で年代が判別できます。「単色タグ(70年代)」→「トリコタグ(80年代)」→「刺繍タグ(90年代)」という変遷は特に有名です。

### 4-3 軍物(ミリタリー)古着はなぜ今も人気なのか?

軍物古着が持つ魅力は、その圧倒的な「実用性」にあります。

- **耐久性**: 過酷な環境に耐えうる頑丈な作り。
- **機能性**: 計算され尽くしたポケットの配置や動きやすいシルエット。
- **普遍的なデザイン**: オリーブ、カーキ、ネイビーといった色はどんな服にも馴染みやすく、流行に左右されません。

M-65フィールドジャケット、M-51フィールドパーカー(モッズコート)、MA-1フライトジャケット、N-1デッキジャケットなどは、数多くのブランドがデザインソースにしており、まさに「定番の教科書」と言えるアイテムです。

## 4-5 カルチャーが交差して生まれる古着の価値

古着の価値は、服そのものの品質だけではありません。

その服が辿ってきた「背景(ストーリー)」も大きく影響します。

- ワークウェア:カーハート (Carhartt) やレッドウィング (Red Wing) のように、労働者のためのタフな服が、ストリートファッションのアイコンへ。
- スポーツウェア:アディダス (adidas) やナイキ (NIKE) のジャージやスニーカーが、アスリートだけでなくヒップホップカルチャーとも結びつき、新たな価値を生みました。
- 音楽:バンドTシャツは、その音楽を愛するファンの証であると同時に、時代を象徴するグラフィックアートとしての価値も持っています。

このように、異なるカルチャーが交差することで、ただの古着が特別な一着へと昇華することがあるのです。

---

## 5. 買取市場で人気な古着のコレクターアイテム

### 5-1. ジーンズ(リーバイス 501)

#### ■ リーバイス501の歴史と背景

ヴィンテージの代名詞とも言える、不動の王道。リーバイス501は、100年以上の歴史を持ち、時代やジャンルを問わず愛され続けてきたジーンズです。特定の年代や仕様によって価値が大きく変わり、その奥深さから“沼”にハマるコレクターも多く存在します。

#### ■ ヴィンテージの特徴

- 大戦モデル(1940s):戦時中の物資統制下で作られたモデル。リベットやステッチの簡略化、粗野なムラ感が魅力。
- 501XX(~1960s):紙パッチの“XX”、隠しリベット、耳付きデニムが生む濃淡の立体的色落ち。
- ビッグE/66前期・後期/赤耳期(~1980s):赤タブの"E"、トップボタン裏の刻印、ポケット裏のチェーンステッチなどで判別。

#### ■ リーバイス501の魅力の本質

リーバイス501のヴィンテージは、単なるジーンズ以上の存在。色落ち、生地 of 風合い、金属パーツなど細部に宿る“時代の証”が、着用者の個性や背景と重なり、唯一無二の一本に育ちます。まさに「穿くアーカイブ」です。

## 5-2. トレンチコート(バーバリー)

### ■ バーバリーのトレンチコートの歴史と背景

英国を代表するブランド「バーバリー」のトレンチコートは、もともと第一次世界大戦の軍用として誕生。創業者トーマス・バーバリーが開発した撥水性・通気性に優れた“コットン・ギャバジン”が使用され、実用性と品格を兼ね備えた定番アウターとして今も高い人気を誇ります。

### ■ ヴィンテージの特徴

- デテールの美学:エポレット、ストームフラップ、Dリングなどの軍用デテールがそのままファッション性に昇華。
- 旧BURBERRY'Sタグ:現行では使われない旧表記タグがヴィンテージの証。
- 一枚袖(ラグランスリーブ):美しいドレープと動きやすさを両立。体格に合うサイズは特に希少。

### ■ バーバリーのトレンチコートの魅力の本質

トレンチコートは“着る文化遺産”。バーバリーのヴィンテージモデルは、単なる防寒着にとどまらず、気品と機能美をまとった永遠の定番です。年齢・スタイル問わず、着る人の品格を引き立ててくれます。

## 5-3. スウェット・パーカー(チャンピオン リバースウィーブ)

### ■ リバースウィーブの歴史と背景

1930年代、チャンピオンが開発した画期的なスウェット「リバースウィーブ」。通常とは異なる横編み構造で縦縮みを防ぎ、サイドリブで可動域も確保。大学スポーツ・ミリタリー・90sストリートなど、幅広いカルチャーで愛されてきました。

### ■ ヴィンテージの特徴

- タグの違い:単色タグ、トリコタグなど、タグの年代で価値が変動。
- カレッジロゴ:刺繍またはラバープリントの大学名入りは人気が高い。
- サイズ感・コンディション:縮みやリブの状態も価格に大きく影響。

### ■ リバースウィーブの魅力の本質

新品にはない、生地のアタリ・褪色・ヤレ感。それらが合わさったとき、ヴィンテージ・リバースウィーブは“ただのスウェット”を超える存在になります。着込むほどに完成されていくプロダクトです。

## 5-4. スニーカー(コンバース オールスター/チャックテイラー)

### ■ チャックテイラーの歴史と背景

1917年に誕生したオールスターは、アメリカのバスケット選手チャック・テイラーの名を冠し、以後チャックテイラーとして不動の定番に。バスケットシューズとしての原点から、ロック、スケート、ストリート...あらゆるカルチャーに浸透したスニーカーの原点です。

### ■ ヴィンテージの特徴

- **三ツ星ヒールパッチ(1960~70s)**: 中央に★が3つ並ぶデザイン。年代を特定する重要な手がかり。
- **生成りキャンバス**: 白すぎず、履き込むほど風合いが増すナチュラルな色味。
- **シャープなフォルム**: 現行品よりつま先が小さく、全体に細身で美しいシルエット。
- **MADE IN USA(~2001年)**: 生産国によって品質も大きく異なり、特にアメリカ製は人気が高い。

### ■ チャックテイラーの魅力の本質

キャンバスの褪せ、ソールの黄ばみ、つま先の擦れ。全てがその人の履き方を表現する記録になります。音楽やストリートカルチャーと深く結びついてきた背景も含めて、履くだけで物語を背負える一足です。

---

## 6. 古着を長持ちさせるお手入れ方法

### 洗濯前チェック

- **タグ確認**: 素材・洗濯表示。
- **色落ちテスト**: 目立たない箇所に水を含ませた白布を当て、色移りを確認。

### 古着の洗い方・乾かし方

- **デニム**: 裏返し、ネットに入れて短時間弱流水。脱水は短く、天日干しだと日焼けの恐れがあるので陰干し。乾燥機は使用すると縮むので基本NG。(乾燥機を用いて生デニムをわざと縮ませる手法もあります)
- **スウェット**: 中性洗剤、裏返しでプリント保護。リブ伸びを防ぐため平干し推奨。

- コットンギャバ(トレンチ):手洗い推奨。部分洗い+スチーム整形が安全。全体洗いは型崩れリスクあり。
- ウール/シルク:繊細な素材なので基本手洗い。ぬるま湯×中性洗剤→タオルドライ→平干し。
- 革製品:濡らさず、専用クリームで保湿。色移り注意。

#### 古着のニオイ対策

- 陰干し+通気
- 重曹/消臭スプレー
- 改善しない強い臭いはウェットクリーニング対応の業者への相談も視野に

#### 古着の保管方法

- 防虫剤は衣類に触れない位置へ
- 湿度管理(乾燥剤/除湿機)
- 形崩れ防止ハンガー、ニットは畳み保管

---

## 7.【実践編】古着を高く売るためのテクニック

一手間加えるだけで、査定額は大きく変わる可能性があります。

- 需要の旬を狙う:コートなどの冬物は秋口に、Tシャツなどの夏物は春先に売るのが基本です。また、メディアでリバイバルブームが起きているなど、トレンドの波に乗ることも重要です。
- 証拠を残す:購入時に付いてきた箱、タグ、ライナー、保証書などは、価値を証明する「証拠」です。必ず一緒に査定に出しましょう。

---

## 8. まとめ | 古着は「中古服」ではなく価値ある「資産」

この記事で見てきたように、古着の価値は「ブランド」「年代」「希少性」「状態」「トレンド」「背景」という6つの基準で決まります。ダメージは必ずしもマイナスではなく、むしろ「味」として評価されることもあります。

古着は、単なる「一度誰かが着た服」ではありません。そこには、歴史や文化、職人の技術、そして前の持ち主の物語が詰まっています。それは、時を経て価値を増す可能性を秘めた、ファッション資産なのです。

まずはクローゼットの奥に眠る一着を手に取り、そのタグをじっくりと眺めてみてください。この記事のポイントと照らし合わせれば、思いがけない発見があるかもしれません。適切なお手入れを施し、ベストなタイミングと方法で査定に出せば、きっとその服が持つ「本当の価値」が見えてくるはずです。